



日本老年看護学会 メールマガジン 第38号 2015/10/28  
生涯学習支援研修応用編－老年看護学と地域包括ケア－参加者募集



今号は、11月に開催する生涯学習支援研修応用編のご案内をお届けします。

\*.-----.\*  
2015年度 生涯学習支援研修（応用編）「老年看護学と地域包括ケア」  
\*.-----.\*

今、まさに地域包括ケアシステム構築が社会的課題になっています。私たちは老年看護の実践や研究の立場から、どのように取り組んだらよいのでしょうか？今年の応用編は皆様のご要望にきつとお応えできる内容です。講演者は、地域包括ケア分野の新進気鋭の牽引者であり、研究者である「堀田聡子氏」と、看護研究者の立場から地域密着型サービスに取り組み、地域包括ケアシステム構築を発展させておられる「永田千鶴氏」です。これからの老年看護の実践と研究のヒントが満載の応用編研修に、ぜひご参加ください。お待ちしております。

- 日 時 2015年11月14日（土） 13:00～16:30
- 会 場 日本教育会館  
(地下鉄都営新宿線・東京メトロ半蔵門線神保町駅徒歩3分)
- 対 象 高齢者ケアに携わる看護職及び教育・研究者
- 参加費 日本老年看護学会会員 2,000円 非会員 3,000円
- 定 員 200名 (先着順) ※まだお席に余裕があります。

■プログラム

1. 地域包括ケアのまちづくり 一人を、地域を、社会を変えるチームスピリット  
【講師】堀田 聡子 氏 (国際医療福祉大学院 教授)  
東京大学社会科学研究所特任准教授、ユトレヒト大学客員教授兼オランダ社会文化計画局研究員、労働政策研究・研修機構研究員を経て2015年4月より現職。専門分野は人的資源管理、ケア人材政策。博士(国際公共政策)。社会保障国民会議サービス保障分科会、地域包括ケア研究会委員等を経て、社会保障審議会介護給付費分科会及び福祉部会、同福祉人材確保専門委員会等において委員を務める。関心は人間中心のケア

とまちづくり、その実現に向けた民主的イノベーションのフレームワーク。訪問介護員2級、メンタルケア・スペシャリスト。

## 2. 地域密着型サービスが地域包括ケアシステムで果たす機能と看護職の役割

【講師】永田 千鶴 氏（山口大学大学院 教授）

病棟看護師、保健師、訪問看護師を10年経験した後に、熊本学園大学社会福祉学部（介護福祉士養成課程）、熊本大学（主に老年看護学担当）を経て、山口大学（主に在宅看護学担当）に赴任した。博士（社会福祉学）取得。現在の研究の関心は、「エイジング・イン・プレイスの実現」であり、地域密着型サービスを利用しながら安心して最期を迎えられるケアシステムの構築を目指している。専門分野は地域・老年看護学、在宅看護学、社会福祉学である。保健師、助産師、看護師、社会福祉士、介護支援専門員（ケアマネジャー）。

■申込締切日：2015年11月9日（月）必着（締切延長いたしました）

■申込方法：（裏面の注意事項をご確認のうえ、下記の方法でお申し込みください）

FAX・郵送：参加申込用紙に必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。

インターネット：

日本老年看護学会公式サイト（<http://www.rounenkango.com>）よりお申し込みください。

+.....+

< 発行 >

日本老年看護学会 総務広報

担当：北川 公子（共立女子大学看護学部）

+.....+

※このメールは2015年10月28日現在のご登録情報をもとにお送りしております。

配信先の変更や停止については、下記事務センターまでご連絡ください。

※このメールの発信元アドレスは、送信専用アドレスです。

本メールへの返信はできません。

お問い合わせは、下記学会事務センターのアドレスにお送りください。

+.....+

< 発信元 >

日本老年看護学会事務センター

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-1-1 株式会社ワールドプランニング内

Tel:03-5206-7431 Fax:03-5206-7757 E-mail:rounenkango@nqfm.ftbb.net

+.....+